

## 2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年5月22日

上場取引所 非上場

会社名 株式会社 但馬銀行  
 コード番号 \_\_\_\_\_ URL <http://www.taiimabank.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 坪田 奈津樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 森脇 正司  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日 2020年6月29日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月30日 特定取引勘定設置の有無 無  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

TEL 0796-24-2111

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	16,105	△1.1	1,287	△32.0	803	△34.5
2019年3月期	16,300	1.0	1,895	11.3	1,227	15.3

(注) 包括利益 2020年3月期 △397百万円 (△187.7%) 2019年3月期 452百万円 (△73.3%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	経常収益経常利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	10.06	—	1.8	0.1	7.9
2019年3月期	15.36	—	2.7	0.1	11.6

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 — 百万円 2019年3月期 — 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	1,195,285	43,883	3.6	545.39
2019年3月期	1,148,049	44,681	3.8	555.65

(参考) 自己資本 2020年3月期 43,563 百万円 2019年3月期 44,383 百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	9,165	13,001	△400	167,701
2019年3月期	31,445	11,186	△400	145,935

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00	399	32.5	0.8
2020年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00	399	49.6	0.9
2021年3月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00		48.1	

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	670	△17.9	440	△16.3	5.50
通期	1,250	△2.9	830	3.2	10.39

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2020年3月期	79,875,000 株	2019年3月期	79,875,000 株
2020年3月期	— 株	2019年3月期	— 株
2020年3月期	79,875,000 株	2019年3月期	79,873,909 株

(参考)個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	13,693	△2.4	1,216	△31.3	779	△34.2
2019年3月期	14,034	△1.5	1,770	11.3	1,185	15.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	9.75	—
2019年3月期	14.84	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	1,195,099	43,016	3.5	538.54
2019年3月期	1,148,058	43,906	3.8	549.68

(参考) 自己資本 2020年3月期 43,016 百万円 2019年3月期 43,906 百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 2021年3月期の個別業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	620	△19.2	420	△17.5	5.25
通期	1,180	△3.0	800	2.6	10.01

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	5
(3) 連結株主資本等変動計算書	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11
4. 個別財務諸表	12
(1) 貸借対照表	12
(2) 損益計算書	14
(3) 株主資本等変動計算書	15

※ 2019年度決算説明資料

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

(当期の経営成績)

当期におけるわが国経済は、世界経済が減速するなかでも緩やかな回復を続けていましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、期末にかけて大幅に下押しされました。

輸出や生産は、外需の減少により弱めの動きが続いた一方で、設備投資は、効率化や建設などへの投資に支えられ概ね横這いとなりました。公共投資は、政府による復興・復旧に向けた経済対策により底堅く推移しました。個人消費は、消費税率引き上げなどの影響を受けつつも持ち直していましたが、期末にかけて弱い動きとなりました。

金融面をみますと、日本銀行は、2%の「物価安定の目標」の実現を目指し、「長短金利操作付き量的質的金融緩和」という枠組みのもとで金融緩和を粘り強く続けており、本年3月には、一層潤沢な資金供給の実施を決定するなど、金融緩和を強化しました。

このような環境のもと、短期・長期の市場金利は、ともに概ねマイナス領域で推移するなか、期末にかけて長期国債の流通利回りは僅かに上昇しプラス領域となりました。日経平均株価は、年明けにかけて2万4千円台まで上昇したものの、その後、新型コロナウイルス感染症の拡大による世界経済への影響が懸念されて大幅に値下がりし、1万8千円台まで低下して越期しました。

次に県内経済をみますと、緩やかに拡大しましたが、期末にかけて弱さがみられました。輸出や生産は、弱めの動きが続きしました。設備投資は、高水準で推移したものの、慎重化の動きもみられました。公共投資は、期末に減少したものの、総じて増加しました。個人消費は、緩やかに持ち直しましたが、期末にかけて停滞しました。地場産業におきましては、豊岡靴やケミカルシューズなどの生産がやや弱含みとなりました。温泉やスキー場など但馬地域の観光地への入込客数は、記録的な雪不足や新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、年明け以降減少しました。

以上のような金融経済環境のなか、当行グループは役職員一致協力して地域に密着した営業活動と経営の効率化に努めました結果、当連結会計年度の損益は、経常収益が前連結会計年度比1億94百万円減少して161億5百万円となり、経常費用が前連結会計年度比4億12百万円増加して148億17百万円となりましたことから、経常利益は前連結会計年度比6億7百万円減少して12億87百万円となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は前連結会計年度比4億23百万円減少して8億3百万円となりました。

(2021年3月期の見通し)

2021年3月期につきましては、厳しい収益環境が続くことが予想されますが、当行グループは、引き続き地域に密着した営業活動を展開するとともに、経営の効率化と収益力の強化を図ることにより、連結ベースの経常利益12億50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益8億30百万円を見込んでおります。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響については、現時点で合理的に算定することが困難なため、上記業績予想には織り込んでおりません。今後の動向を見極めながら、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

### (2) 当期の財政状態の概況

(資産・負債の状況)

預金は、安定した取引基盤の拡充と預金の増強に積極的に取り組みました結果、前連結会計年度末比295億79百万円増加して1兆331億81百万円となりました。

貸出金は、地域の事業者向け貸出や住宅ローンに積極的に取り組みました結果、前連結会計年度末比412億25百万円増加して8,508億75百万円となりました。

有価証券は、資産の流動性の確保と資金の安全性を重視し、国債・地方債を中心に将来の市場変動リスクに配慮した運用に努めました結果、前連結会計年度末比153億11百万円減少して1,395億26百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末比217億66百万円増加して1,677億1百万円となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度は、預金等が増加したことにより91億65百万円の収入（前連結会計年度は314億45百万円の収入）となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度は、有価証券の売却・償還による収入が取得による支出を上回ったことにより130億1百万円の収入（前連結会計年度は111億86百万円の収入）となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度は、前連結会計年度と同様に配当金の支払等により4億円の支出となりました。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当行グループの業務は日本国内に限定されており、当面は日本基準を採用することとしております。

なお、I F R S（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、検討していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

	(単位:百万円)	
	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	148,508	170,188
コールローン及び買入手形	727	713
買入金銭債権	979	1,025
商品有価証券	40	27
有価証券	154,837	139,526
貸出金	809,649	850,875
外国為替	1,045	1,006
リース債権及びリース投資資産	5,774	6,102
その他資産	12,665	12,735
有形固定資産	15,369	14,991
建物	4,380	4,198
土地	9,955	9,955
リース資産	11	4
建設仮勘定	-	32
その他の有形固定資産	1,021	799
無形固定資産	411	419
ソフトウェア	411	344
その他の無形固定資産	0	74
繰延税金資産	17	20
支払承諾見返	562	529
貸倒引当金	△ 2,540	△ 2,875
資産の部合計	1,148,049	1,195,285
<b>負債の部</b>		
預金	1,003,602	1,033,181
借入金	92,430	108,484
外国為替	25	27
その他負債	2,740	5,867
役員賞与引当金	4	5
退職給付に係る負債	2,048	1,982
役員退職慰労引当金	303	286
睡眠預金払戻損失引当金	106	87
偶発損失引当金	56	59
繰延税金負債	759	161
再評価に係る繰延税金負債	727	727
支払承諾	562	529
負債の部合計	1,103,367	1,151,401
<b>純資産の部</b>		
資本金	5,481	5,481
資本剰余金	1,487	1,487
利益剰余金	30,936	31,341
株主資本合計	37,906	38,310
その他有価証券評価差額金	5,415	4,145
繰延ヘッジ損益	0	△ 0
土地再評価差額金	1,133	1,133
退職給付に係る調整累計額	△ 72	△ 26
その他の包括利益累計額合計	6,476	5,252
非支配株主持分	298	320
純資産の部合計	44,681	43,883
負債及び純資産の部合計	1,148,049	1,195,285

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
 連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
経常収益	16,300	16,105
資金運用収益	10,506	10,341
貸出金利息	9,337	9,339
有価証券利息配当金	1,112	946
コールローン利息及び買入手形利息	19	21
預け金利息	30	29
その他の受入利息	6	4
役務取引等収益	2,919	2,863
その他業務収益	2,482	2,626
その他経常収益	392	274
償却債権取立益	30	17
その他の経常収益	362	256
経常費用	14,405	14,817
資金調達費用	423	494
預金利息	418	489
債券貸借取引支払利息	1	1
借入金利息	0	0
その他の支払利息	3	3
役務取引等費用	1,769	1,823
その他業務費用	2,097	2,259
営業経費	9,852	9,605
その他経常費用	261	634
貸倒引当金繰入額	168	514
その他の経常費用	93	119
経常利益	1,895	1,287
特別損失	155	61
固定資産処分損	91	46
減損損失	32	15
その他の特別損失	31	-
税金等調整前当期純利益	1,739	1,226
法人税、住民税及び事業税	485	473
法人税等調整額	△ 13	△ 73
法人税等合計	472	399
当期純利益	1,267	826
非支配株主に帰属する当期純利益	39	22
親会社株主に帰属する当期純利益	1,227	803

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	1,267	826
その他の包括利益	△ 814	△ 1,223
その他有価証券評価差額金	△ 816	△ 1,269
繰延ヘッジ損益	0	△ 0
退職給付に係る調整額	2	45
包括利益	452	△ 397
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	413	△ 420
非支配株主に係る包括利益	39	22

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,481	1,487	30,106	—	37,075
当期変動額					
剰余金の配当			△399		△399
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,227		1,227
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分		△0		1	1
土地再評価差額金 の取崩			2		2
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	△0	830	—	830
当期末残高	5,481	1,487	30,936	—	37,906

	その他の包括利益累計額					非支配株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	退職給付に 係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	6,232	0	1,135	△74	7,293	260	44,629
当期変動額							
剰余金の配当							△399
親会社株主に帰属する 当期純利益							1,227
自己株式の取得							△1
自己株式の処分							1
土地再評価差額金 の取崩							2
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△816	0	△2	2	△816	38	△778
当期変動額合計	△816	0	△2	2	△816	38	52
当期末残高	5,415	0	1,133	△72	6,476	298	44,681

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,481	1,487	30,936	—	37,906
当期変動額					
剰余金の配当			△399		△399
親会社株主に帰属する 当期純利益			803		803
自己株式の取得					—
自己株式の処分					—
土地再評価差額金 の取崩					—
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	404	—	404
当期末残高	5,481	1,487	31,341	—	38,310

	その他の包括利益累計額					非支配株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	退職給付に 係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	5,415	0	1,133	△72	6,476	298	44,681
当期変動額							
剰余金の配当							△399
親会社株主に帰属する 当期純利益							803
自己株式の取得							—
自己株式の処分							—
土地再評価差額金 の取崩							—
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△1,269	△0	—	45	△1,223	21	△1,202
当期変動額合計	△1,269	△0	—	45	△1,223	21	△797
当期末残高	4,145	△0	1,133	△26	5,252	320	43,883

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,739	1,226
減価償却費	766	709
減損損失	32	15
貸倒引当金の増減(△)	△ 18	335
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	0	0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△ 126	0
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	30	△ 16
睡眠預金払戻損失引当金の増減 (△)	7	△ 19
偶発損失引当金の増減 (△)	△ 2	3
資金運用収益	△ 10,506	△ 10,341
資金調達費用	423	494
有価証券関係損益(△)	△ 261	△ 177
為替差損益(△は益)	△ 1	0
固定資産処分損益 (△は益)	91	45
貸出金の純増(△)減	△ 25,201	△ 41,225
預金の純増減(△)	54,501	29,579
借入金(劣後特約付借入金を除く)の純増減 (△)	1,774	16,054
預け金(日銀預け金を除く)の純増 (△) 減	△ 532	86
コールローン等の純増(△)減	97	△ 31
外国為替(資産)の純増(△)減	△ 46	38
外国為替(負債)の純増減(△)	△ 15	2
リース債権及びリース投資資産の純増 (△) 減	△ 864	△ 328
資金運用による収入	10,997	10,837
資金調達による支出	△ 420	△ 474
その他	△ 452	2,830
小計	32,013	9,646
法人税等の支払額	△ 567	△ 480
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,445	9,165
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△ 9,257	△ 12,535
有価証券の売却による収入	3,183	2,126
有価証券の償還による収入	18,574	23,754
有形固定資産の取得による支出	△ 1,245	△ 178
有形固定資産の除却による支出	-	△ 43
有形固定資産の売却による収入	4	48
無形固定資産の取得による支出	△ 73	△ 170
投資活動によるキャッシュ・フロー	11,186	13,001
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△ 1	-
自己株式の売却による収入	1	-
配当金の支払額	△ 399	△ 399
非支配株主への配当金の支払額	△ 1	△ 1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 400	△ 400
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△ 0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	42,231	21,766
現金及び現金同等物の期首残高	103,703	145,935
現金及び現金同等物の期末残高	145,935	167,701

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当行グループの報告セグメントは、当行グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当行グループは、銀行業務を中心にリース業務などの金融サービスに係る事業を行っております。

したがって、当行グループは銀行業務を基礎とした金融サービス別のセグメントから構成されており、「銀行業」、「リース業」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表の作成方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部経常収益は、一般的な取引と同様の条件で行っております。

3. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結財務諸表 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	13,563	2,503	16,067	38	16,105	—	16,105
セグメント間の内部経常収益	129	282	412	217	629	△ 629	—
計	13,693	2,786	16,479	256	16,735	△ 629	16,105
セグメント利益	1,216	67	1,284	4	1,288	△ 0	1,287
セグメント資産	1,195,099	8,097	1,203,196	226	1,203,422	△ 8,137	1,195,285
セグメント負債	1,152,083	7,457	1,159,540	50	1,159,590	△ 8,189	1,151,401
その他の項目							
減価償却費	702	6	709	—	709	△ 0	709
資金運用収益	10,397	0	10,397	0	10,397	△ 56	10,341
資金調達費用	522	55	577	—	577	△ 83	494
特別損失	61	—	61	—	61	△ 0	61
(固定資産処分損)	46	—	46	—	46	△ 0	46
税金費用	375	22	397	1	399	△ 0	399
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	259	29	289	—	289	—	289

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と連結損益計算書の経常収益計上額の差異について記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、事務代行業、不動産賃貸業等であります。

3. 「セグメント利益」「セグメント資産」「セグメント負債」「減価償却費」「資金運用収益」「資金調達費用」「特別損失」「税金費用」「有形固定資産及び無形固定資産の増加額」の調整額は、セグメント間取引消去であります。

4. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

5. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、建設仮勘定及びソフトウェア仮勘定の増加額は含めておりません。

(1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	545円39銭
1株当たり当期純利益	10円6銭

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	43,883
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	320
(うち非支配株主持分)	(320)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	43,563
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	79,875

(注) 2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、次のとおりであります。

		当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	803
普通株主に帰属しない金額	百万円	-
普通株式に係る親会社株主に 帰属する当期純利益	百万円	803
普通株式の期中平均株式数	千株	79,875

なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないので記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
現金預け金	148,508	170,188
現金	16,492	19,542
預け金	132,016	150,645
コールローン	727	713
買入金銭債権	979	1,025
商品有価証券	40	27
商品地方債	40	27
有価証券	154,912	139,600
国債	45,170	35,705
地方債	72,638	69,095
社債	26,192	24,484
株式	10,305	9,739
その他の証券	604	576
貸出金	816,230	857,655
割引手形	3,261	2,184
手形貸付	18,181	17,676
証書貸付	758,935	803,220
当座貸越	35,852	34,573
外国為替	1,045	1,006
外国他店預け	974	937
買入外国為替	3	-
取立外国為替	66	69
その他資産	11,865	11,892
前払費用	2	2
未収収益	1,055	895
金融派生商品	8	31
その他の資産	10,799	10,962
有形固定資産	15,277	14,896
建物	4,391	4,209
土地	9,780	9,780
リース資産	798	647
建設仮勘定	-	32
その他の有形固定資産	306	226
無形固定資産	430	409
ソフトウェア	248	230
リース資産	182	103
その他の無形固定資産	0	74
支払承諾見返	562	529
貸倒引当金	△ 2,522	△ 2,845
資産の部合計	1,148,058	1,195,099

(単位:百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
預金	1,004,131	1,033,774
当座預金	31,937	30,746
普通預金	413,084	431,292
貯蓄預金	10,234	10,581
通知預金	5,220	5,237
定期預金	534,864	546,497
定期積金	3,446	3,752
その他の預金	5,343	5,666
借入金	92,180	108,294
借入金	92,180	108,294
外国為替	25	27
売渡外国為替	2	-
未払外国為替	23	27
その他負債	3,339	6,195
未払法人税等	244	255
未払費用	368	407
前受収益	159	191
従業員預り金	430	417
給付補填備金	0	0
金融派生商品	4	26
リース債務	1,083	840
資産除去債務	-	30
その他の負債	1,047	4,024
役員賞与引当金	4	5
退職給付引当金	1,927	1,927
役員退職慰労引当金	303	286
睡眠預金払戻損失引当金	106	87
偶発損失引当金	56	59
繰延税金負債	786	167
再評価に係る繰延税金負債	727	727
支払承諾	562	529
負債の部合計	1,104,152	1,152,083
純資産の部		
資本金	5,481	5,481
資本剰余金	1,487	1,487
資本準備金	1,487	1,487
その他資本剰余金	0	0
利益剰余金	30,387	30,767
利益準備金	3,993	3,993
その他利益剰余金	26,394	26,774
別途積立金	25,137	25,937
繰越利益剰余金	1,257	837
株主資本合計	37,356	37,736
その他有価証券評価差額金	5,415	4,145
繰延ヘッジ損益	0	△ 0
土地再評価差額金	1,133	1,133
評価・換算差額等合計	6,549	5,279
純資産の部合計	43,906	43,016
負債及び純資産の部合計	1,148,058	1,195,099

(2) 損益計算書

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
経常収益	14,034	13,693
資金運用収益	10,560	10,397
貸出金利息	9,390	9,394
有価証券利息配当金	1,113	948
コールローン利息	19	21
預け金利息	30	29
その他の受入利息	6	4
役務取引等収益	2,932	2,896
受入為替手数料	623	621
その他の役務収益	2,308	2,274
その他業務収益	117	85
外国為替売買益	44	44
商品有価証券売買益	0	-
国債等債券売却益	72	41
その他の業務収益	0	0
その他経常収益	424	313
償却債権取立益	30	17
株式等売却益	204	152
その他の経常収益	189	143
経常費用	12,263	12,476
資金調達費用	453	522
預金利息	418	489
債券貸借取引支払利息	1	1
借入金利息	0	0
その他の支払利息	33	31
役務取引等費用	1,769	1,823
支払為替手数料	122	122
その他の役務費用	1,647	1,700
その他業務費用	-	0
商品有価証券売買損	-	0
営業経費	9,784	9,513
その他経常費用	256	617
貸倒引当金繰入額	163	497
貸出金償却	22	56
株式等償却	15	15
その他の経常費用	55	47
経常利益	1,770	1,216
特別損失	155	61
固定資産処分損	91	46
減損損失	32	15
その他の特別損失	31	-
税引前当期純利益	1,615	1,154
法人税、住民税及び事業税	440	447
法人税等調整額	△ 10	△ 71
法人税等合計	430	375
当期純利益	1,185	779

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	5,481	1,487	0	1,487	3,993	24,537	1,068	29,599
当期変動額								
剰余金の配当							△399	△399
別途積立金の積立						600	△600	—
当期純利益							1,185	1,185
自己株式の取得								
自己株式の処分			△0	△0				
土地再評価差額金の取崩							2	2
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）								
当期変動額合計	—	—	△0	△0	—	600	188	788
当期末残高	5,481	1,487	0	1,487	3,993	25,137	1,257	30,387

	株主資本		評価・換算差額等				純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	—	36,568	6,232	0	1,135	7,368	43,936
当期変動額							
剰余金の配当		△399					△399
別途積立金の積立		—					—
当期純利益		1,185					1,185
自己株式の取得	△1	△1					△1
自己株式の処分	1	1					1
土地再評価差額金の取崩		2					2
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）			△816	0	△2	△818	△818
当期変動額合計	—	788	△816	0	△2	△818	△30
当期末残高	—	37,356	5,415	0	1,133	6,549	43,906

当事業年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	5,481	1,487	0	1,487	3,993	25,137	1,257	30,387
当期変動額								
剰余金の配当							△399	△399
別途積立金の積立						800	△800	—
当期純利益							779	779
自己株式の取得								
自己株式の処分								
土地再評価差額金の取崩								
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	800	△419	380
当期末残高	5,481	1,487	0	1,487	3,993	25,937	837	30,767

	株主資本		評価・換算差額等				純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	—	37,356	5,415	0	1,133	6,549	43,906
当期変動額							
剰余金の配当		△399					△399
別途積立金の積立		—					—
当期純利益		779					779
自己株式の取得		—					—
自己株式の処分		—					—
土地再評価差額金の取崩		—					—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）			△1,269	△0	—	△1,269	△1,269
当期変動額合計	—	380	△1,269	△0	—	△1,269	△889
当期末残高	—	37,736	4,145	△0	1,133	5,279	43,016